

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 37 回部会）会議録

日 時：令和 4 年 5 月 12 日（木）午後 7 時～午後 8 時 40 分
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 今年度の活動について
(2) 活動報告及び意見交換
(3) 情報提供
- 4 その他
- 5 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 資料-1 【バリアフリー構想の実現に向けて】
- ・ 資料-2 令和 4 年度 活動予定（再掲）
- ・ 「柴島浄水場上系配水池上部空間」の有効活用に関するマーケットサウンディング（市場調査）
- ・ 大規模事業リスク管理会議（抜粋）
- ・ 副首都推進本部会議（抜粋）
- ・ 「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針 2022（案）」にかかるパブリック・コメント

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 議題

(3) 情報提供

(事務局)

- ・ 議題が前後するが先に (3) 情報提供の説明をさせて頂く。
- ・ 1 点目は「柴島浄水場上系配水池上部空間」の有効活用に関するマーケットサウンディング（市場調査）の結果についてである。柴島浄水場（上系）5・6 号配水池の上部空間を活用し、民間事業者に施設の建設及び運営を任せる検討が進められている。施設の幅広い事業アイデア、参画意欲、市場性の有無等を把握することを目的に、マーケットサウンディング（市場調査）が実施された。事前説明会や現地見学会に 8 者が来られ、2 者との対話を実施された。結果として、アクセスルートの改善により事業性の向上が見込めるといったことや事業期間はいずれにも 20 年から 30 年は見込んで欲しいということである。今後の検討状況については、随時情報提供していきたいと考えている。
- ・ 2 点目は、阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業について、大阪市大規模事業リスク管理会議で 4 年間程度延伸することが公の資料として示されている。事業完了が令和 13 年度、高架切替が令和 10 年度になる見込みである。

- ・3点目は、新大阪駅周辺のまちづくりについて（今後の進め方）について、副首都推進本部会議にて、大阪都市計画局から府知事、市長に報告された。まちづくり方針（案）が取りまとめられ、令和4年4月22日から5月23日までの期間でパブリックコメントが実施されている。パブリックコメントの期間が終了後に改めて検討協議会が実施されると聞いている。
- ・4点目は、淡路駅周辺自転車対策協議会からのお知らせについてである。淡路駅周辺の放置自転車の対策について、「淡路駅周辺自転車対策協議会」が昨年11月に立ち上げられたことや構成する団体、協議会の取り組み、淡路駅周辺の駐輪場について示されている。

(部会長)

- ・柴島浄水場のマーケットサウンディングの報告書は公表されているのか。
- ・事業者募集はいつするのか。

(事務局)

- ・報告書は大阪市のホームページに掲載されている。
- ・募集はこれからの検討と聞いている。スケジュールも現時点では決まっていない。

(部会長)

- ・柴島浄水場のマーケットサウンディングの事務局は水道局が担当しているのか。

(事務局)

- ・水道局が担当している。

(部会長)

- ・マーケットサウンディングを行ってから事業者募集は早いと思われるがどうなのなのか。

(事務局)

- ・準備をどの程度進めているかで変わってくると思われる。

(久教授)

- ・同様に水道局の管理であった桜ノ宮駅前の水桜会館の時は、勝手に売却するような雰囲気があったため、区役所が入り住民要望を聞いて、どういう施設を売却に際して入れて欲しいかということを伝えた。

(事務局)

- ・柴島浄水場については、地下の配水施設の上部空間の利用なので、売却という話ではない。

(久教授)

- ・公共空間を使う時には、区役所や区民の意見が重要になるので、意見交換をする場があればいいように思う。

(部会長)

- ・マーケットサウンディングの報告と今後のスケジュール、進め方を説明してもらうため、次回の構想部会に水道局に来て頂くのはどうか。

(事務局)

- ・事務局から説明をして貰えるか確認をする。

(1) 今年度の活動について

(事務局)

- ・アンケート調査を実施した際に協議会の活動が認知されていない認識が少ないという意見を頂いていたので、配布用の資料を作成した。(資料-1)
- ・アクションプランの作成がなかなか進まない理由の過半数がコロナ禍で会合が出来ないという意見であった。まん延防止措置も解除されたため、部会員の方を窓口として、各地域の代表に説明させて頂いて、地域の実情に合わせて進めていきたいと考えている。
- ・久教授からアドバイス頂いているように、アクションプランに記載する95%はこれまでの活動についてである。現在、地域で行われている活動テーマを整理していくことで前に進むと考えている。
- ・地域への負担を軽減するため地域保健福祉計画策定に関する作業とも重複しないように区役所内でも連携する予定である。
- ・大阪府から感染拡大防止に向けた要請が5月22日まで出ているので、5月23日以降に各部会員に日程調整をお願いする予定である。

(2) 活動情報及び意見交換

意見交換要旨

【地域の活動状況】

西淡路地域

- ・もと西淡路小学校跡地の計画で大阪市は当初は売却という方針だったが協議を重ね、売却だけでなくもと小学校跡地を既存のまま活用する方向性も合わせて検討することとなった。
- ・新大阪駅東口まちづくりの骨子が出来上がってきているので、今年度をかけてまちづくりのビジョンを作っていきたいと思う。住民参加のまちづくりが極めて大事なので、そこは住まわれている方、通勤で通われている方などの意見の集約を進めていきたいと思う。

豊新地域（部会員欠席のため部会長からの報告内容）

- ・フードバンクやフードドライブの活動が地域で計画されている。

新庄地域

- ・秋の運動会を新設されるグラウンドのお披露目の意味も含めて開催したいと考えている。

下新庄地域

- ・サマーフェスタ等のイベントも含めて、活動のほとんどが再開している。

【阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業について】

(部会長)

- ・阪急の立体交差の事業が遅れるとの話もあるが、高架下の利用方法などを地域と連携して検討したいと考えている。将来的にはアクションプランにも繋がると考えている。

(久教授)

- ・近鉄が近鉄不動産とタイアップして、高架下にオフィス付住宅というものを計画している事例がある。

(事務局)

- ・高架下の話は、直近にならないと計画が決まらないところがあり、現時点では具体的な話とせず、色々なアイデア出しをした方が今後のためになるように思う。
- ・連続立体交差事業では、公共がお金を出しているの、一定の割合で公共が使用できる面積が確保できる。それをどのように活用するかは、事業が進んでからの議論になると思われる。活用事例として、福祉会館や広場をつくっている事例は大阪市にもある。

【アクションプラン（保険福祉計画）の見直しについて】

(新庄地域部会員)

- ・作成した計画の見直しは期限があつてないようなもので、このままでは忘れられそうな状況である。どうすればいいのか。

(久教授)

- ・ある地域では5年毎に見直しをしている。見直すというのは、作り直すということではなく、今の時代に合っているかどうか点検するという意味である。5年に1度を目途に会議を開き、今後5年もつかどうかという議論をし、微修正するという作業を行うといいように思う。大変だが毎年点検をしている地域もある。作って終わりなら忘れられるので、見る機会を増やすことが重要だと思う。

(事務局)

- ・区役所でも5年に1度点検し、計画の見直しを行っている。手間はかかるが、点検が出来るのでいい仕組みだと思う。
- ・声をかけて頂けたら、新庄の会合にも参加させて頂きお手伝いすることは可能である。

(久教授)

- ・ある地域で地域の基礎データも2年経つと変化するかもしれないから、コンサルに手伝ってもらえないかという相談があった。地域に統計データに強い人や分析したいと思っている人を探してお願いすることで、地域の中で回せるのではないかと提案した。地域のデータは、今ではオープンデータになっているので分析してくれる人さえ見つければ地域で出来るように思う。事務局にコンサルタントが入っているが、地域の住民にもどこかのコンサルタントなどに勤めている人がいるはずである。

(事務局)

- ・以前に地域の基礎データを整理した資料がある。国勢調査の結果を確認し、更新できるデータがあれば更新し、次回提供を行う。世帯数と人口が更新されているのは確認しているが、更に細かなデータは追々出てくると思われる。

久教授のアドバイス要旨

- ・他の区の小学校の統廃合に伴う開発事業について、私も選考委員に入っている。地域からすると小学校は防災機能や地域の事業を展開する拠点機能を持っているものである。元々地域が活用していた機能は一定確保した上で、事業をするという約束をしている。

- ・ある市ではまちづくり協議会のガイドブックを作成している。ガイドブックの中には運営方法のチェックリストがあるので、参考にしてもらいたい。現状の問題点は色々出てくるが、5年後や10年後の事を考えた地域の将来像を、まずは話し合ってもらいたい。次に地域の将来像を実現するためにどういう事を日々やっていくのかという構成にすると分かり易くなると思う。
- ・アクションプランとは未来の話をするのですが、100年前、10年前の地図などを一緒に載せておくと、記憶を伝えていくことも出来るので面白いと思う。未来を語る前に歴史を地域で共有するという作業を行う。地域のご高齢の方は楽しそうにしてくれる。話を聞かせて下さいという姿勢から入るので、たくさん話してくれるし話もよく聞いてくれるという雰囲気になる。

4. その他

- ・次回の部会は7月14日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

5. 閉会

以上